

“正しさ”ってひとつだけ…?

～新たに生まれた「排除」「差別」とおして～

渋川まちづくりセンターでは、住みよいまちづくりを進めるために毎年人権講座を開催しています。

2月頃から新型コロナウイルス感染拡大により、私たちの日常は一変しました。そしてコロナ禍の中、社会に生まれた新しい「差別」…。今回はその背景のひとつとなった“正しさ”にスポットを当てます。「自分は常に正しい側にいたい」その意識が強すぎて、自分の“正しさ”を押し付けてしまう。3月から急増した「自粛警察」、限定的な映像やインタビュー。本当に正しいのでしょうか？このような社会だからこそ必要な学びについて共に考えます。



と き： 令和2年10月3日(土) 13時30分～15時[予定]

と ころ： 渋川まちづくりセンター 大会議室

講 師： 公益社団法人 滋賀県人権教育研究会

研究推進部研究員 杉江 範昭さん

対 象： 渋川学区のみなさん、渋川まちづくりセンターに登録の自主教室に参加されているみなさん

定 員： 先着30人(下記まで、電話またはFAXでお申込みください)

※ 自宅で検温し、体温が37.5℃以上の方、当日風邪症状がある方は来館を見合わせてください。マスク着用をお願いします。国・県および草津市の感染拡大状況によりやむを得ず中止する場合があります。

渋川まちづくりセンター

電 話：077-569-050 F A X：077-569-0350

*お申込みの際は、参加者の名前および連絡先をお伝えください。